

シミの原因となるメラニン色素を作る酵素(チロシナーゼ)の働きに対する阻害効果を測定する試験です。チロシナーゼの活性を抑制することで、新たに作られるメラニン色素を減少させ、美白への効果が期待できます。

市販されている美白剤のコウジ酸やアルブチン、ビタミンC(誘導体)は、このチロシナーゼの活性阻害効果を有しています。

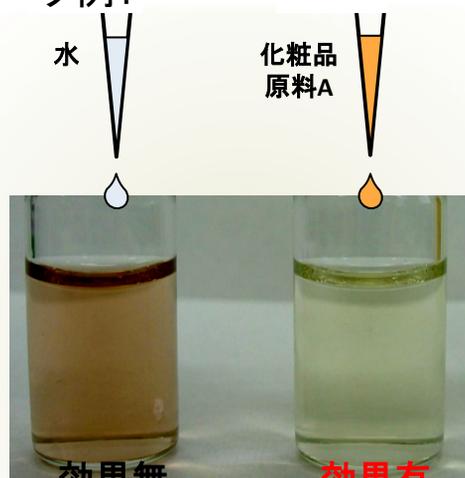
弊社ではチロシナーゼの由来別(マッシュルーム由来、B16メラノーマ由来、HMV- II 由来)に三種類の試験があります。

試験目的: シミ、くすみ

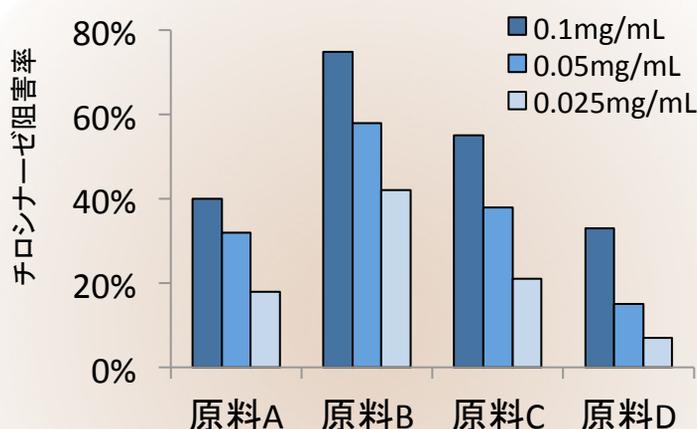
データ活用: 社内教育用資料 基礎研究データ

データ提出: 画像 数値

データ例:



化粧品原料Aに  
チロシナーゼの活性を  
抑制する効果が確認される



	原料A	原料B	原料C	原料D
効果	△	◎	○	△

原料B、Cに抗酸化効果が確認され、  
特に原料Bの効果が高い

## マッシュルーム由来チロシナーゼ阻害効果試験

試薬のマッシュルーム由来チロシナーゼを用いて評価する試験です。

## B16メラノーマ由来チロシナーゼ阻害効果試験

マウス由来のメラノーマ細胞(B16メラノーマ細胞)から抽出したチロシナーゼを用いて評価する試験です。

## HMV- II 由来チロシナーゼ阻害効果試験

ヒト由来のメラノーマ細胞(HMV- II 細胞)から抽出したチロシナーゼを用いて評価する試験です。